

彫刻や塗りの絢爛豪華な九台の屋台。笛や太鼓、ばち鉦が響く屋台囃子。さあ、ぶつけだ！



◆宵まつり
4月15日(土)

ぶつけ 午後7時 (金燈籠交差点)

◆本まつり
4月16日(日)

ぶつけ 午後6時 (金燈籠交差点)

開会式
午前11時30分

大田原市屋台まつり実行委員会事務局 0287-22-2273

[屋台まつり](#)



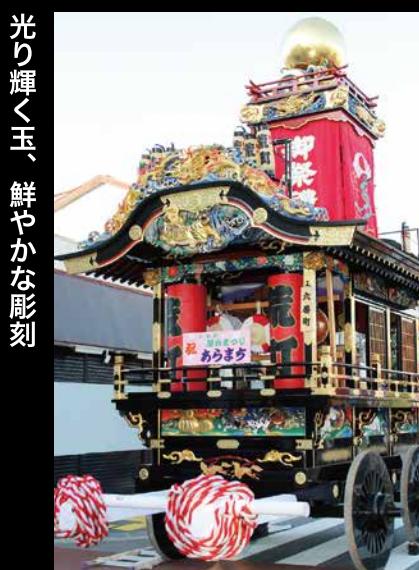
荒
荒町



上町



かみや



大久保町



荒町



さかえ

大手



志も町



しも

寺
寺町



寺町



かみや

元町



元町



さかえ

志も町



志も町



しも

仲
仲町



仲町



かみや

志も町



志も町



しも

大手



大手



お

可憐な手古舞、美しい朱塗り
寺町の初代屋台の製作年代は不詳ですが、茨城県常陸大宮市鷺子地区に保存される屋台が初代屋台といわれます。色鮮やかな朱塗りが施された屋台は、県内でこの屋台が倒伏した光景寺門影刻には、1958年(昭和33年)の台風で現在の屋台の方向転換は手回し式ギヤーを用います。また寺町の屋台の方向転換は手回し式ギヤーを用います。お囃子は100年以上続く平林お囃子保存会です。

伝統屋台が奏でる新しい音
江戸時代末期に製作された仲町の初代屋台は戊辰戦争の際に焼失し、1919年(大正8年)現在の屋台が製作されました。前鬼板に玉取龍、前懸魚には波千鳥の彫刻が施されています。ほかにも牡丹、菊水の彫刻が施されています。それが特徴です。お囃子は1968年(昭和43年)に仲町独自に発足した廓内南流仲町琴吹会が奏でます。

昇り龍、威風堂々
元町屋台の製作時期は江戸時代といわれており、1982年(昭和57年)に益子町の関口氏から譲り受けたものです。前鬼板には牡丹と獅子が彫られ、前懸魚には龍がいます。そしてその他の奥、前方の欄間にには鰐がおり、立身出世を意味する中国の故事「鰐の渡り」を表現しているといわれます。お囃子は増山松葉流中野内囃子保存会、大和流鶯子囃子保存会の2派流が演奏をします。